

2001年度予算大蔵原案に対する会頭コメント
(2000年12月21日)

我が国経済の回復に足踏みが見られるなか景気浮揚に重点を置くとともに財政の効率化に努めるなど一定の評価はできますが、21世紀も見据えてより徹底した財政構造改革を行うべきと思います。

日本の国家財政及び地方財政は危機的状況にあり、だからこそ景気を民間主導による自律的回復の軌道に乗せるよう努めていかなければなりません。

中央省庁の再編のもとで行政改革をはじめ徹底した歳出削減に取り組み小さな政府を実現し、税金・物価が安くて国民が豊かで安心して暮らしていける21世紀の日本を実現されますことを期待します。

京都関係では、厳しい財政状況の中で京都迎賓館の着工が盛り込まれましたことに対し、関係各位のご尽力に御礼を申し上げます。

京都商工会議所
会頭 稲盛和夫